

小字が示す地形の種類ごとに地図を色分けした。

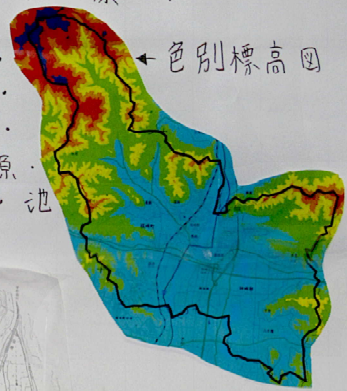
あついでのこと
 ・名は山岳にのみあつた
 ・山に對する地名が必ずしも山に對する
 地名であつた。

■ ... 山・滝・竹嶽・崖・尾

■ ... 谷・岡・峠・岸

■ ... 坪・野・原・平

■ ... 川・浦・島・河・原・水・池



5 地名が示す自然災害の危険性

地名の由来について調べていく中で、地名はそれぞれの地域の歴史を反映しており、中には過去に起こった災害によって反映しているものも少なくありません。例えば、地名に「崩」「滑」とついていると、雨が降ったときにその場所の土が崩れやすかったり、滑りやすかったりして災害の危険性を示している可能性があります。

地名は「地形」に通じ、土砂災害の危険性がある。山間部は主に斜面で、土砂災害の危険性がある。河川沿い(堤)に由来して、埋立地に使われる。河川沿い(堤)という意味の「バリエ」に由来して崩壊地形の地名に由来している。

山間には、過去に災害があった人の「ここは危い」というメッセージが込められているのかもしれない。

自然災害の危険性のある地名について調べてみました。

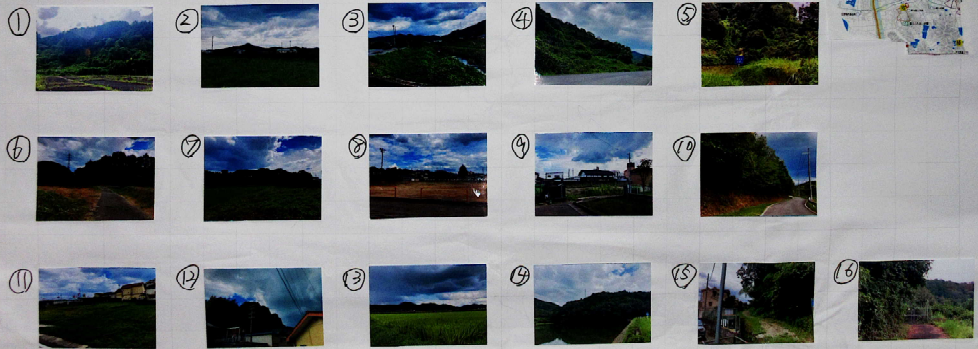
水害	釜・女・烏匂・滝・袋・龍・竜・淵・狭・黒・江 など
土砂崩れ	地・窪・沖・鼻・橋・狭・小豆・釜・牛・初 など
浸水	島・池・馬・緑 など

福岡市の小字の中にも、同じものがある。なので、現地調査をしました。
 ①. 実際に災害の危険性があるかどうか、福岡市防災地図を小字の場所と確認してみました。

No.	大字名	小字名	危険性
①	高岡	高岡色	土砂災害警戒区域(土砂災害)
②	福田	祝小豆	浸水危険区域(河川浸水)
③	高岡	祝元	浸水危険区域(河川浸水)
④	西泊	祝越	浸水危険区域(河川浸水)
⑤	西泊	祝谷	浸水危険区域(河川浸水)
⑥	高橋	祝越	浸水危険区域(河川浸水)
⑦	南田原	中敷北	浸水危険区域(河川浸水)
⑧	南田原	ハツコロ	浸水危険区域(河川浸水)
⑨	西田原	蔵垣内	浸水危険区域(河川浸水)
⑩	西田原	祝越	浸水危険区域(河川浸水)
⑪	東田原	巻谷口	土砂災害警戒区域(土砂災害)
⑫	又電	巻谷	浸水危険区域(河川浸水)
⑬	又電	牛嶋	浸水危険区域(河川浸水)
⑭	八千種	高巻	土砂災害警戒区域(土砂災害)
⑮	八千種	牛島谷	土砂災害警戒区域(土砂災害)
⑯	八千種	又坪木	土砂災害警戒区域(土砂災害)

感想

地図から小字をひろいあげて分類したり、地形ごとに色分けするのが大変だった。地名と地形の関係性を調べるには地図はもちろんだけでなく、他の情報がいりいり必要になると感じた。



No. 現地調査で感じたこと

- ① 近くに神戸区海浜大塚が建つ。7通り、そこは地形が変なところ。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。
- ② 地名は「砂」の字がある。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。
- ③ 祝小豆の川はほとんど干涸びた。
- ④ 道路の両側がぼろぼろだった。
- ⑤ 河川沿い(堤)に由来することもある。近くに高巻谷がある。土砂災害の危険性がある。
- ⑥ 地名が「山」で始まる。山間部は地形が変なところ。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。
- ⑦ 地名が「川」で始まる。河川沿い(堤)に由来。現地の地形は、河川沿い(堤)に由来。現地の地形は、河川沿い(堤)に由来。現地の地形は、河川沿い(堤)に由来。
- ⑧
- ⑨ ぶつんの住居地。
- ⑩ ぶつんの住居地。
- ⑪ 雨が降ると土砂崩れがあり、その危険性を感じた。
- ⑫ 東大森公民館の近く。山の頂上は砂いり。土砂災害の危険性がある。
- ⑬
- ⑭ 山の高い位置にあった。
- ⑮ 春日山のふもと。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。土砂災害の危険性がある。
- ⑯ フェンスがあり立ち入り禁止だった。

6. 地名と地形の関係性

小字が示すと思われる地形と実際の地形(標高図)と比較して、完全に一致してはなかったが、大まかに見て、一致している部分があった。特に、災害の危険性の可能性が考えられる小字は、福岡市防災地図の危険区域と一致していた。地名の多くが、地形から名付けられており、地形は、人々に重要な要素の一つだと思われる。